

## 有峰のブナ帯の蛾類についての一考察 白山との比較から

令和3年(2021)9月1日

報告：有峰森林文化村 霜鳥 智也

編集：有峰森林文化村 田島 敏美

有峰は、ブナやミズナラが分布している標高1000～1300mの高原盆地です。有峰で記録された蛾類の種類は24科931種で、確認された最大の科はヤガ科の340種です<sup>1)</sup>。有峰のブナ科 (Fagaceae)ブナ属 (Fagus)、主にブナ (Fagus crenata)を食草 (寄主植物)とする蛾類についての考察は隣県の石川県白山の蛾類分布調査の報告が大変参考になります<sup>2)</sup>。

富沢は、この報告の中で、ブナ帯が蛾の宝庫であること、下表に表示したように日本海側のブナ帯で採集された近県の蛾類の種数を比較し、その上限が、1100～1200種であること、白山、中宮温泉 (標高650mと六万山 (標高980m) の種数は1051種で、白山はほぼ成熟値に近く、蛾の豊富な所であると報告しています。さらに、日本のブナ属 (Fagus) に固有の蛾11種がすべて分布していることを報告しています。

一方、有峰におけるブナ属に固有な蛾類について、有峰森林文化村の調査結果や過去の調査報告を検索してみると有峰にも上記の11種すべてが分布していることが確認されました<sup>1)～3)</sup>。大変興味深いことです。ただ、富山と白山の調査範囲、特に標高差に相違があることやそれぞれの植生の相違についても考慮しなければならないと考えています。富沢は、有峰の標高により近い白山の六万山 (標高は980m) は、本来のブナ-ミズナラの自然植生を保った良好な環境であり、オオカメノキ、オオバクロモジ、カエデ類が生息し、蛾相が豊富であると報告しています。有峰も同様の樹種が分布しており、ブナ属に依存する蛾種以外の蛾相の類似性が期待されます。

有峰には、イヌコリヤナギなどヤナギ科 (Salicaceae)ヤナギ属 (Salix)やヤマハンノキ、ヤマハンノキなどのカバノキ科 (Betulaceae)ハンノキ属 (Alnus)やウダイカンバやシラカバなどのカバノキ属 (Betula)も生育しており<sup>1)4)</sup>、これらの樹種に依存する蛾種の分布調査も必要と考えています。

## 【参考文献】

- 1) 富山県昆虫同好会編：有峰の昆虫相/有峰の自然別冊 (昭和56年7月)
- 2) 富沢 章 特集 白山の蛾類 白山 第10巻 3号 (通巻45号)、1983
- 3) 中川 秀幸 他：有峰の昆虫類 常願寺川流域 (有峰地域) 自然環境調査報告別冊、1996
- 4) フールド版 日本の野生植物木本/平凡社

## ブナ属に固有な蛾類

科名	種名	白山	有峰
シャチホコガ	ブナアオシャチホコ	○	○
	マルモンシャチホコ	○	○
	ウグイスシャチホコ	○	○
	タカムクシャチホコ	○	○
	エゾギンモンシャチホコ	○	○
ヤガ	ゴマシオキシタバ	○	○
	ヨシノキシタバ	○	○
	ソトキイロアツバ	○	○
	ウラギンガ	○	○
	ヒメギンガ	○	○
トガリバ	ウスジロトガリバ	○	○

近県各地のブナ帯の蛾

地名	種類数
石川県 中宮温泉・六万山	1051
富山県 有峰	931
新潟県 三面	1034
岐阜県 北西部域 <sup>※</sup>	909

※ブナ帯より低地を含む

